

## 大久保彦左衛門(忠教)

おおくぼひこざえもん  
桶狭間の戦い・1560 =  
彦左

旗本。戦国時代の精神を残し、自家経歴武功を記した「三河物語」を著して。講談の主人公に。

三河国で、一向一揆以来徳川家康を支えてきた大久保一族忠員の八男に生まれる。母は側室。幼名平助、通称彦左。初名忠雄のち忠教。すでに、長兄忠世は28歳、次兄忠佐23歳となって、戦場を駆け回っていた。

家の向かいにあった日蓮宗妙国寺の大檀那の家という環境に育ち、自らも熱心な信者になって行く。

織田信長入京 1568 = 8歳：  
京都宣教許可 1569 = 9歳：

室町幕府滅亡 1573 = 13歳：

長篠の戦い・1575 = 15歳：初めて徳川家康に見参り、  
安土城築城・1576 = 16歳：初陣以後、名将といわれた長兄忠世に属し、

上杉謙信没・1578 = 18歳：

八ヶ原の戦い 1581 = 21歳：徳川方が武田勝頼方の高天神城を攻めた際、功名手柄を立て、  
本能寺の変・1582 = 22歳：  
賤ヶ岳の戦い・1583 = 23歳：徳川家康が甲斐一国と信濃半国を入手する戦でも、大久保一族にあって貢献するなど、諸合戦に奮戦、

八ヶ原追放令 1587 = 27歳：

秀吉全国統一 1590 = 30歳：家康が関東入部となった際、長兄忠世は小田原四万五千石を賜る。

鳥羽島通交・1594 = 34歳：長兄忠世が病死したため、以後、その嫡子忠隣に仕え、その所領のうち、武蔵国の埼玉郡2000石を知行、

26聖人殉教・1596 = 36歳：

この間に、馬場氏の養女(武田信玄の弟の娘ともいわれる)と結婚、

関ヶ原の戦い・1600 = 40歳：

朱印船制始・1601 = 41歳：次兄忠佐が駿河沼津二万石に栄転し、一族から二名の大名が出る名誉となる。

徳川家康隠居 1605 = 45歳：

家康駿府退隠 1607 = 47歳：長男忠名が誕生、

前後で4男4女を得、子煩悩だったらしい。

兄忠佐が無嗣のため沼津城2万石を彦左衛門に継がせようとしたところ、自身の軍功で得た領知でないからと辞退、

支倉常長渡欧 1613 = 53歳：忠佐死去で、その所領が収公され、

大坂冬の陣・1614 = 54歳：大坂の陣に鎗奉行として従軍後、\*秀忠政権下でできた権臣となっていた忠隣が突然改易となって、大久保一族は没落。自らは家康に召され、旗本に列せられるも、知行は三河額田郡に1000石のみとなる。

大坂夏の陣・1615 = 55歳：夏の陣で家康の旗が崩れたとする説がひろまり、その場所にいたということで証人に召された彦左衛門は、主家の恥が永久に伝えられることを恐れたため、これを強く否定、家康をして強情者とあきれさせる。

徳川家康没・1616 = 56歳：

以後、忠隣改易が文治派の本多正信・正純父子の陰謀によるものと思い込んで恨みを抱き続け、武功派の存在を誇示する戦国生き残り武士の気概を伝える長老として、同じような立場の旗本・御家人の声を代弁するかのようになり、ご意見番的に多くの逸話を残しながら、

元和大殉教・1622 = 62歳：後の講談の主役の因、\*徳川氏創業からの由来を示しながら義憤を書きつけた奇書「三河物語」を著す。

徳川家光將軍 1623 = 63歳：

久しく無役であったが、

徳川秀忠没・1632 = 72歳：\*旗奉行に任じられ、2000石に復して、

鎖国令・・・1634 = 74歳：荒木又右衛門の敵討事件で、大名と旗本の意地の張り合いとなった際、老中松平信綱に頼まれ、旗本側の調停役をつとめたという。

最後まで致仕・隠居せずに、現役を貫いて、

鎖国令・・・1639 = 79歳：没した。